

石城時報

編輯 石城時報編輯部
印刷 石城時報印刷部
發行 石城時報發行部
電話 石城時報電話部
地址 石城時報地址部

強震の震源地

豊間沖合と判明

小名濱測候所で発表

三日午前二時半石城地方一帯に強震あり、上下動を交え去る大正十二年九月一日のそれに比べ稍強烈の程度で、震動時間も長かつたので就寝中の人々は何れも着のみの着のまゝで戸外に飛び出した等大騒ぎを演じたが、震源地その他については小名濱測候所で左の如く發表した。

石城海岸 一二尺増水

三日拂曉の強震被害については平署で各方面の情報を取まごめ中であるが、正午まで集つた情報によれば海岸方面では激動のため波浪が高く平常より二尺以上の増水となり之がため江名、頗る急激に來たのが珍らしい仲の作、小名濱各海岸に乾して分間位であつたが備付けの地震計には前後四時間以上が感してゐる、最大震幅三ミリ初期微動は二時三十一分十八秒六である、震源地は東徑百四十三度、北緯三十八度の海底線が切斷した、あ暗黒化した

津浪と火災で

慘憺たる岩手縣

今曉強震被害

三日午後一時半の電話によれば倒壊家屋一千七百十九戸に達し強震被害は震源地を距てた岩手又火災が起つたため五百五十戸縣地方が最も甚だしく釜石、宮城失した。この騒ぎで死者五百古、その他海岸方面は津浪の襲名に達し、行衛不明百四名に達來で流失家屋一千二百六十六戸してゐる。

中堅農民講習

修得者氏名

昭和七年度石城郡農會主催中堅農民講習會は二月二十八日終了し三月二十一日修得證授與式を舉行する筈であるが、修得者は左の如くである。

- 山田村 澤田八郎、錦村坂本敏雄、勿來町 齋藤武、荒川安、上野野村 金子萬光、入野野村 小澤定雄、面川勘一、永山忠之、折笠利治、柳田茂謙、川部村 野村謙、蛭田喜一、飯野村 志賀清、永山恭、木村繁雄、江尻久幸、夏井村 酒井一郎、片寄町 七、塩正勉、鈴木勇、

申告を怠れば

特典を附與されぬ

所得金額その他の申告

期限は三月十五日

所得税乙種資本利子税及び營業收益税の賦課額を決定す可き材料とする個人所得金額、乙種資本利子金額、營業純益金額の申告は来る三月十五日が最終期日となつてゐるので平務署では申告用紙を配布し申告せしめるやう努力してゐるが、右について平務署で語る。

一、申告義務範圍個人營業純益金額は營業の稼高が四百圓以上、所得金額は同居家族と合算一家の所得即稼高が千二百圓以上の方は夫々納税の義務

高久村 鈴木宗盛、大谷仁榮、鈴木富太郎、江名町 吉田勇、伊藤宗治、作山七、鹿島村 鈴木良造、箱崎安治、長瀬博文、新妻安徳、小名濱町 柳内保、柳内裕、磐崎村 箱崎孝一、猪狩守、湯本町 高原裕平、小久富町 坂本進、坂本充父、志尾崎 徳衛、赤井村 松崎美松、鎌倉庄平、西山忠守、赤井村 鈴木政保、船生善作、箕輪村 小笠一雄、高萩忠衛、神谷村 佐川勇太郎、中野萬一、草野村 新妻秀一、江尻英晴、渡邊富藏、草野村 渡邊福松、飯島政雄、四倉町 遠藤富雄、多島一、大野村 西山徳一、佐藤榮菅波長吉、高木利雄、平窪村 草野一郎、大須賀一郎、今野富定、大山七郎、川崎嘉右衛門、松本理平、草野定信、植田町 大平昇、大平求、水野富男、大浦村 酒井猪吉、芳賀康之助、賀澤太郎、丹野清、泉村 笹川伊佐雄、吉田典男、上小川村 根本春司、

傷病手當金の請求

手續が後れて却下さる

健康保険に關し 炭坑夫の異議申立

既報石城郡川前村三澤後田丸上において審査會を開き丸共製炭炭坑夫夫奈良金五郎(四六)は昨表者堀江精輔、公立病院長菅沼清次郎博士、大日本紡績代表者山岸秀一氏、昭榮製糸代表者高木孝喜、警察部長渡正監、入山探炭代表者須藤熊雄の諸氏が會合し協議の結果

右請求は健康保険法第八十六條の規定により處分の通知を受けた日より三十日以内にこれをなすべきものなるに拘らず第一回請求は七十六日、第二回請求は三十九日を經過してゐるから

町金庫に

七十七を指定

ればは營業收益税金より除せられます。採用致さず(一)所得納税者の前年納付したる生命保険料の申告と同時に申請により所得金額より二百圓の限度として控除致され(二)六十歳以上の老者、十八平町では四月一日から町金庫に七十七銀行平支店を指定し擔保方は所得の申告と同時に申請五萬圓を提せしめて現金出納一切を委任する事になつたが、銀行では行員を町役場に出張せしめ事務を取扱ふ筈である。

國民更生運動

平町で講演會

縣社會事業協會では國民更生の徹底を期すべく三月十五、六の兩日平町に於て國民更生講演會を開催する事になつた。聴講者は市町村吏員並に學校職員、その他市町村長の推薦を受けたる者、時間は毎日午前九時半から會場は未定、講師並に演題次を通りである。

石城郡内 徴兵検査日

石城郡内の徴兵検査日は八月十九日から九月二日まで平第一小學校に於て行ふ事になつた。

師範に入学

平町盤城 佐賀學舎本科在學生吉田な(神谷村)さんは本縣女子師範學校の入学試験に合格した。

爆薬を盗む

石城郡内 郷村宇高坂居住坑夫田原真雄(三五)同佐藤一郎(三〇)小山源一郎(三〇)舞木平吉(四〇)好間村舟木七郎(四八)の五名は磐城炭礦の倉庫から作業用ダイナマイト四十本を窃取し昨年八月頃から十數回に亘つて山田村地内飯川で密漁してゐたこと發覺平

勇敢な泥酔者

硝子戸に頭を突き込む

負傷してその場に昏倒

石城郡内郷村大字御厩古物商類泥酔し歸り途平驛前遠藤パン屋戸草源(四〇)は二日午後四時半附近で暴れ出し同家の硝子戸を頭平町白銀町知人方で酒を飲み開けずに入らうとして頭を硝子

に突込み負傷しその場に昏倒したが、手當の結果蘇生平署で保護三日釋放した。

集募徒生

光輝ある歴史
堅實なる學風

磐城佑賢學舎

中等科(中學程度)
女子部(高女程度)
入學願書四月四日迄

山城町平
(番三九話電)

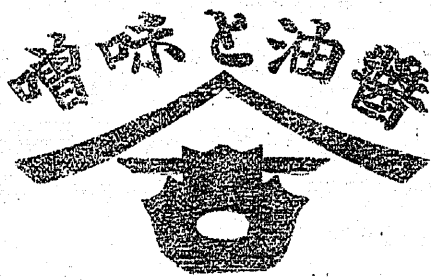
復興生徒募集

第五年
第一學年 壹百名
第二學年 若干名

入學資格 小學校卒業以上
出願期日 四月四日迄
新學期開始 四月四日

私立磐城青年學校

福島縣平町城山
創立明治四十年
規則書申込次第進呈



福島縣平町
山崎合名會社

電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

平町田町(電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

內科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科

廣告

新任外科部長
外科學士來任
每日診療ニ從事ス

內臟外科 醫學士 内木宗八
整形外科 泌尿器科
昭和七年七月

平町新川町十九番地
外産婦人科 **木村病院**
電話一六四番

耳鼻咽喉科 氣管食道科

病室完備：自炊の便あり
平町南町 **大和田醫院**
電話一七〇番

病室完備 平町南町
外科專門 X光線科
上田外科醫院
電話一二九番

貨切御用命

三井自動車部へ
電話六八五番
乗合は 好間合戸澤渡方面行

大藏省允許

磐城無盡
共同共栄
誠實至宝

木村病院

電話一六四番

上田外科醫院

電話一二九番

藤沼醫院

電話五〇七番

專科 內科
十二指 腸胃病
婦人病 淋病
皮膚病 專科

松村 胃腸科醫院
平町南町
【番七〇一話電】

父政久儀永々病氣之處養生不相叶
三月一日午后五時遂ニ逝去致候間
此段御通知申上候

追々來ル四日午後一時自宅出棺長橋町性源寺ニ於
テ佛式ニ依リ葬儀可仕候

昭和八年三月二日

男 吉田 鎮政
男 清水 廣政
親戚總代 清水 爲政

店員募集

年歲 十四五歳の店員御希望の者
學歷 小學校卒業程度
多數入用に付御來談被下度し

平町鍛冶町
吉田屋吳服店
電話一二二番

吉田眼科病院

平町紺屋町電話六八番

花柳病科 專門

平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番